

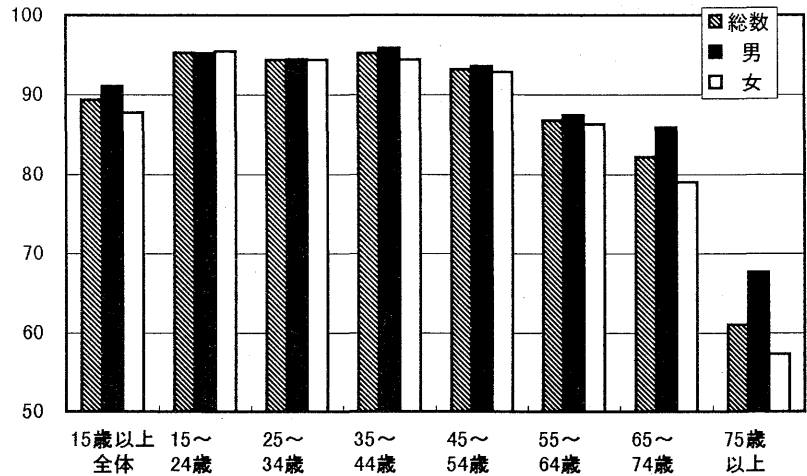
4 趣味・娯楽

(1) 過去1年間に「趣味・娯楽」を行った人は約136万人、行動者率は89.4%

過去1年間に何らかの「趣味娯楽」を行った人は136万1千人で、行動者率は89.4%となっています。このうち、男性は66万7千人で行動者率91.1%、女性は69万5千人で同87.8%となっており、行動者数は女性が多くなっていますが、行動者率では男性が高くなっています。

年齢階級別に行動者率をみると、男女とも54歳までは90%を超えています。(図2-4-1)

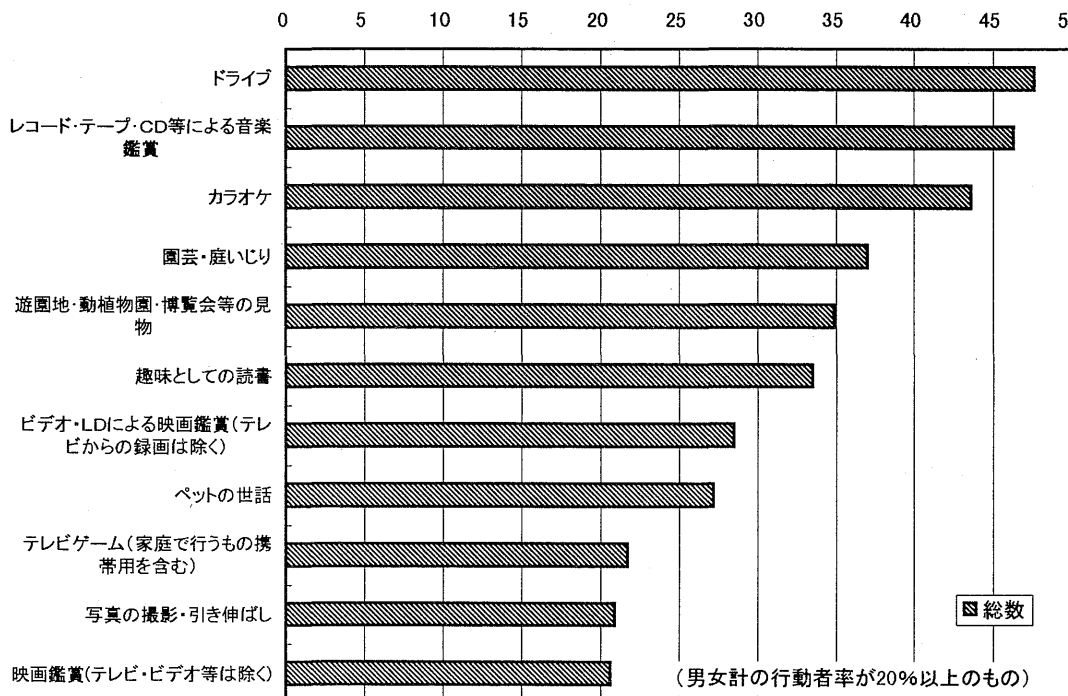
図2-4-1 年齢階級別「趣味・娯楽」の行動者率(15歳以上)



(2) 行動者率が高い「ドライブ」

「趣味・娯楽」を行った人をその種類別にみると、「ドライブ」が72万5千人(行動者率47.6%)で最も多く、次に「レコード・テープ・CD等による音楽鑑賞」が70万6千人(同46.3%)、「カラオケ」66万4千人(同43.6%)、「園芸・庭いじり」56万4千人(同37.0%)「遊園地・動植物園・博覧会等の見物」53万2千人(同34.9%)となっています。(図2-4-2)

図2-4-2 「趣味・娯楽」の種類別行動者率(15歳以上)―総数 (%)

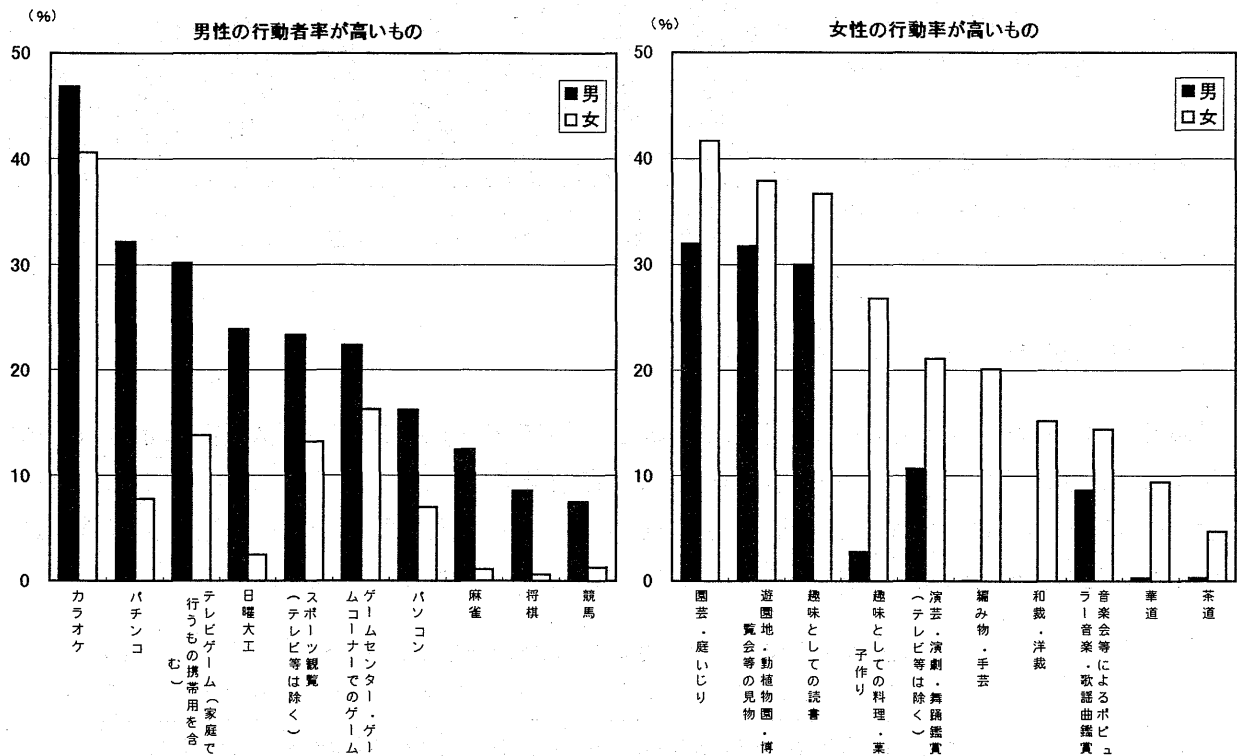


(3) 男女差が大きい「パチンコ」、「日曜大工」、「趣味としての料理・菓子作り」、「編み物・手芸」

種類別の行動者率を男女別に見ると、種類により男女でかなりの違いが見られ、男性の行動者率が女性よりも10ポイント以上高いものは、「パチンコ」、「日曜大工」、「テレビゲーム(家庭で行うもの携帯用を含む)」、「麻雀」、「スポーツ観覧(テレビ等は除く)」等となっています。

一方、女性の行動者率が男性よりも10ポイント以上高いものは、「趣味としての料理・菓子作り」、「編み物・手芸」、「和裁・洋裁」、「演芸・演劇・舞踊鑑賞(テレビ等は除く)」等となっています。(図2-4-3)

図2-4-3 「趣味・娯楽」の種類別行動者率(15歳以上)

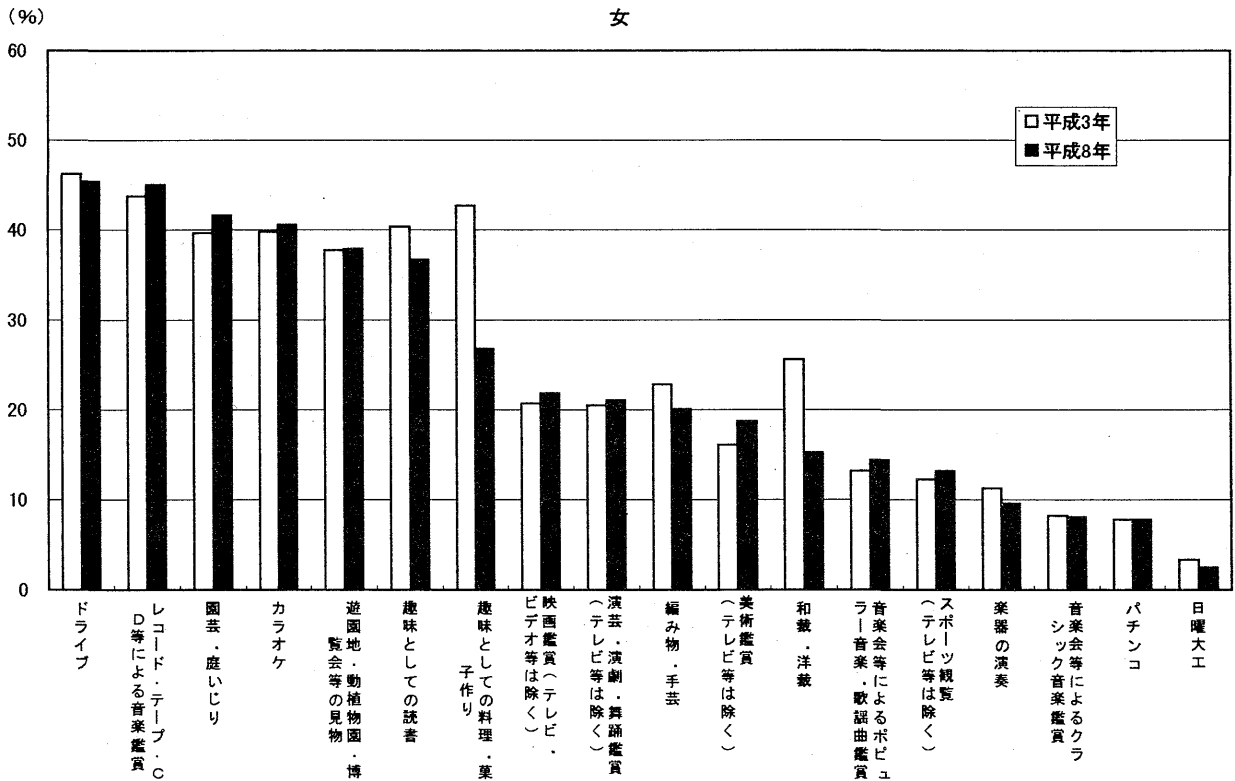
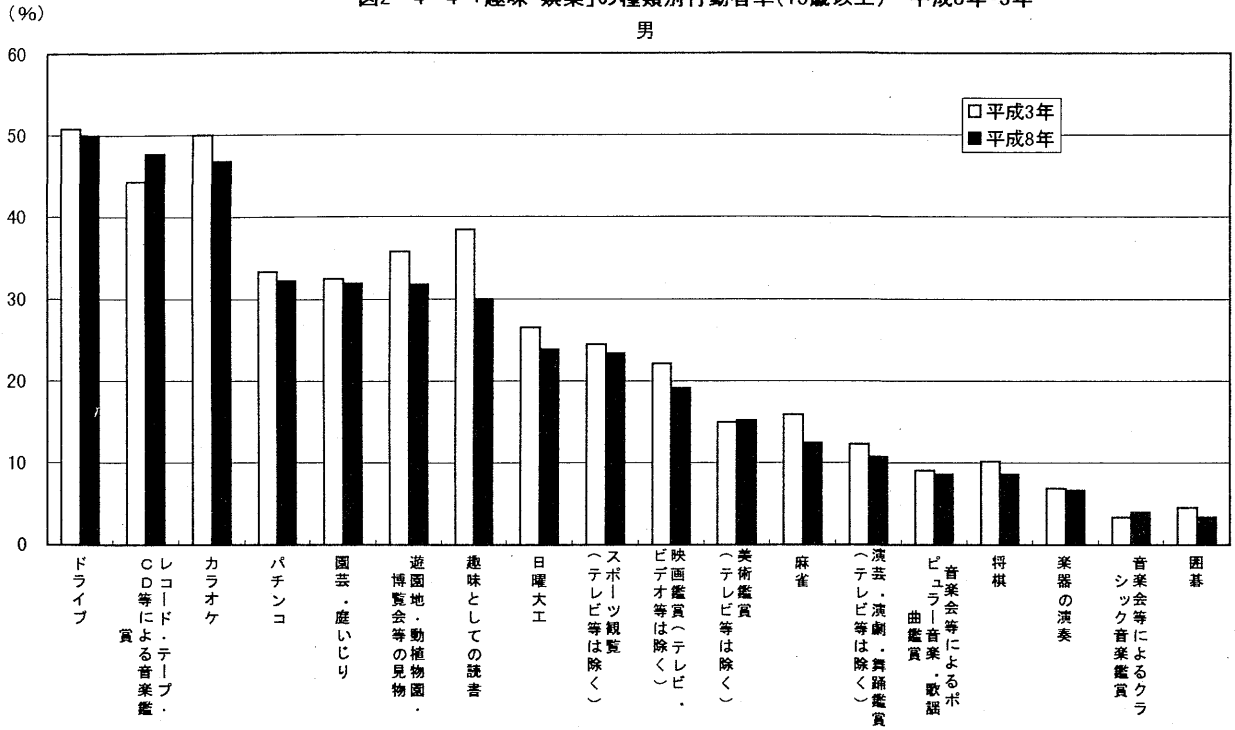


(4) 行動者率が大きく低下した男性の「趣味としての読書」、女性の「趣味としての料理・菓子作り」「和裁・洋裁」

15歳以上の人々の行動者率を男女別に平成3年と比べると、男性は多くの種類で低下しています。特に「趣味としての読書」が大きく減少しています。増加したのは「レコード・テープ・CD等による音楽鑑賞」、「美術鑑賞(テレビ等は除く)」、「音楽会等によるクラシック音楽鑑賞」の3種類でした。

一方、女性は「趣味としての料理・菓子作り」、「和裁・洋裁」が大きく減少していますが、「レコード・テープ・CD等による音楽鑑賞」、「園芸・庭いじり」、「カラオケ」、「遊園地・動植物園・博覧会等の見物」、「映画鑑賞(テレビ・ビデオ等は除く)」、「演芸・演劇・舞踊鑑賞(テレビ等は除く)」、「美術鑑賞(テレビ等は除く)」、「音楽会等によるポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞」、「スポーツ観覧(テレビ等は除く)」が増加しました。(図2-4-4)

図2-4-4 「趣味・娯楽」の種類別行動者率(15歳以上)ー平成8年・3年



5 旅行・行楽

(1) 過去1年間に「旅行・行楽」を行った人は約127万人、行動者率は83.4%

過去1年間に「旅行・行楽」を行った人は127万1千人で、行動者率は83.4%と、多くの人々が日常生活圏を離れて「旅行・行楽」に出かけています。

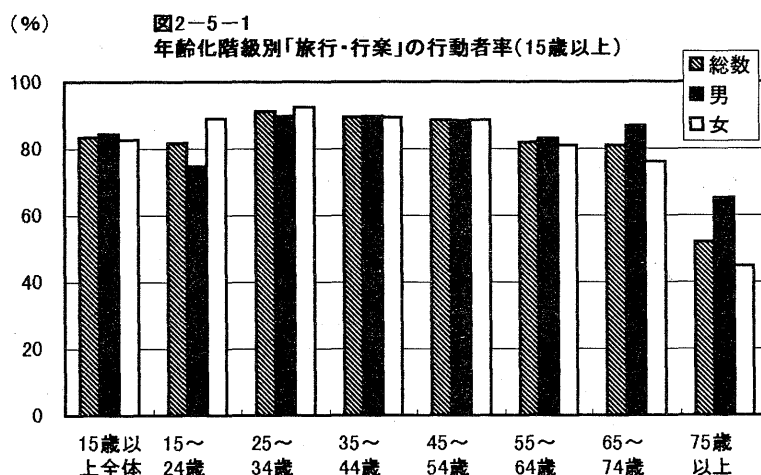
このうち、男性は61万7千人(行動者率84.3%)、女性は65万4千人(同82.7%)となっており、行動者数は女性が多くなっていますが、行動者率では男性が高くなっています。(表2-5-1)

表2-5-1 「旅行・行楽」の種類別行動者率(15歳以上)

	(%)		
	総数	男	女
総数	83.4	84.3	82.7
行楽(日帰り)	68.0	66.1	69.7
旅行(1泊2日以上)	72.0	75.3	68.9
国内旅行	70.4	73.5	67.6
観光旅行	59.8	63.0	56.9
帰省・訪問等の旅行	23.0	20.8	25.1
業務出張・研修・その他	17.2	26.0	9.1
外国旅行	10.7	10.9	10.5
観光旅行	9.5	9.0	10.0
業務出張・研修・その他	2.1	3.0	1.2

年齢階級別に行動者率を見ると、男女とも75歳以上の層を除き各年齢層で高い割合となっています。

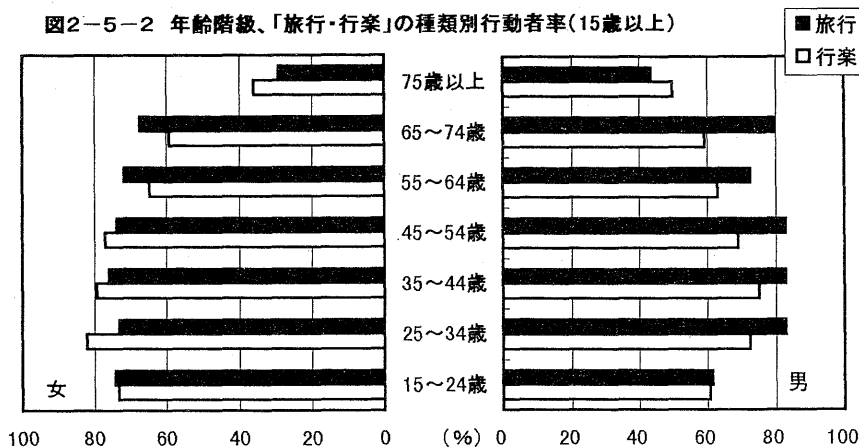
また、54歳までの層では女性が上回っていますが、55歳を超えると男性の行動者率が高くなっています。(図2-5-1)



(2) 7割以上の人が出かける1泊2日以上の「旅行」

「旅行・行楽」を行った人について「行楽(日帰り)」と「旅行(1泊2日以上)」に分けて行動者率をみると、「行楽」は68.0%、「旅行」は72.0%で「旅行」が高くなっています。

男女別に行動者率をみると、「行楽」は男性が66.1%、女性が69.7%、「旅行」は男性が75.3%、女性は68.9%となっており、女性よりも男性のほうが「旅行」の行動者率が高くなっています。



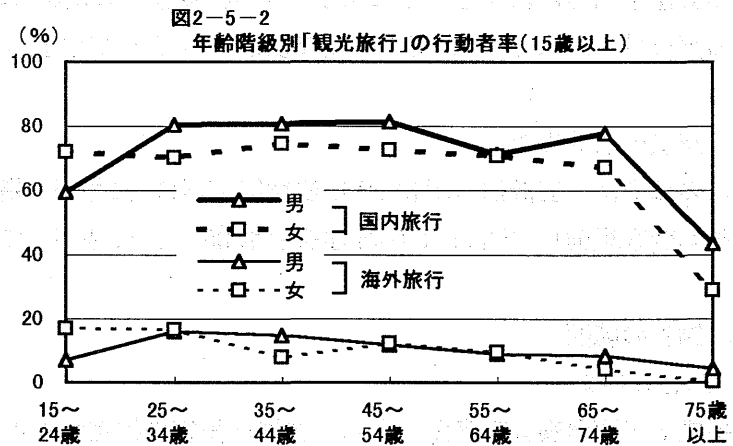
また、「旅行」の種類別にみると、国内の「観光旅行」は男性が63.0%、女性が56.9%、外国の「観光旅行」は男性が9.0%、女性が10.0%、と国内の「観光旅行」は男性、外国の「観光旅行」は女性の行動者率が高くなっています。(表2-5-1)

次に、年齢階級別に男女を比べると、男性は15~74歳の各層で「旅行」が「行楽」を上回っていますが、女性は25~54歳の各層で「行楽」が「旅行」を上回っています。(図2-5-2)

(3) 34歳以下の女性のほぼ6人に1人は外国観光旅行

「旅行」のうち「観光旅行」を年齢階級別にみると、国内の「観光旅行」では、男性の45~54歳の層が最も高くなっているのに対し、女性は35~44歳の層が最も高くなっています。

一方、外国の「観光旅行」では、男性は25~34歳の層が最も高く、女性は15~24歳の層が最も高くなっています。(図2-5-2)



(4) 伸びの大きい女性の海外への「観光旅行」

15歳以上の人について、「旅行・行楽」の行動者率を平成3年と比べると、男性で3.4ポイント、女性で4.2ポイント上昇しています。これを種類別にみると、「行楽」は、男性が1ポイントの増加に対し、女性は5.2ポイント増と大きく増加しています。

また、旅行のうち国内の「観光旅行」は男性は3.6ポイント上昇したものの、女性は2.5ポイント低下しています。

一方、外国の「観光旅行」は男性が2.4ポイント、女性が4.9ポイント上昇しています。(表2-5-2)

表2-5-2 「旅行・行楽」の種類別行動者率(15歳以上)—平成3年・8年

	総数			男			女		
	平成3年	平成8年	増減率	平成3年	平成8年	増減率	平成3年	平成8年	増減率
総数	79.6	83.4	3.8	80.9	84.3	3.4	78.5	82.7	4.2
行楽(日帰り)	64.8	68.0	3.2	65.1	66.1	1.0	64.5	69.7	5.2
旅行(1泊2日以上)	68.3	72.0	3.7	71.0	75.3	4.3	65.8	68.9	3.1
国内旅行	67.1	70.4	3.3	69.5	73.5	4.0	64.8	67.6	2.8
観光旅行	57.4	59.8	2.4	59.4	63.0	3.6	59.4	56.9	-2.5
滞省・訪問等の旅行	20.5	23.0	2.5	19.5	20.8	1.3	21.4	25.1	3.7
業務出張・研修・その他	18.0	17.2	-0.8	27.7	26.0	-1.7	9.2	9.1	-0.1
外国旅行	6.7	10.7	4.0	8.3	10.9	2.6	5.3	10.5	5.2
観光旅行	5.8	9.5	3.7	6.6	9.0	2.4	5.1	10.0	4.9
業務出張・研修・その他	1.5	2.1	-3.7	2.5	3.0	0.5	0.6	1.2	0.6

注 増減は平成3年とのポイント差